

平成 26 年 9 月 30 日

平成 26 年度 学校関係者評価報告書

学校法人新潟総合学院
長岡こども・医療・介護専門学校
自己点検・評価委員会
「学校関係者評価」専門部会委員会

学校法人新潟総合学院 長岡こども・医療・介護専門学校自己点検・評価委員会「学校関係者評価」専門部会委員会は、平成 25 年度自己点検・自己評価報告書に基づいて学校関係者評価を実施致しました。以下のとおり、報告致します。

1. 「学校関係者評価」専門部会委員

- ・本校専門分野における業界関係者
山之内 勝 氏 医療法人 誠心会 吉田病院 総務部長
- ・本校卒業生
小林 葵 氏
- ・本校校長
山本 ヒサ 学校法人新潟総合学院 長岡こども・医療・介護専門学校
- ・本校校長の指名する者
清水 優作 学校法人新潟総合学院 長岡こども・医療・介護専門学校 副校長
黒崎 勝 学校法人新潟総合学院 長岡こども・医療・介護専門学校 教務部長
村田 啓助 学校法人新潟総合学院 長岡こども・医療・介護専門学校 就職相談室長
長谷川 佳奈子 学校法人新潟総合学院 長岡こども・医療・介護専門学校 教員

2. 基準項目ごとの学校関係者評価・意見

項目	評価
基準 1 教育理念・教育	・「スペシャリストの育成」と「豊かな人間形成」の教育方針に基づいた、一貫性のある指導を評価する。 ・現場の I T 機器への対応が求められている点において、教育現場も常に最新の機器での授業が望まれる。
基準 2 学校運営	・事務職員と教職員の連携・役割を更に徹底し、効率的な学校運営を図るべきではないか。 ・建物が 2 つあり離れている為、連絡がスムーズにいかない場合がある。例えば電話連絡については、内線での対応を取り入れてはどうか。
基準 3 教育活動	・医療現場により業務内容は変化する。よって、学校教育では応用や深部に特化したものではなく、基本を入念に指導してもらいたい。
基準 4 教育成果	・高い就職実績を誇り、地域医療へ貢献している点において評価に値する。

基準5 学生支援	<ul style="list-style-type: none"> ・日本育英会やNSG奨学金等の奨学金支援に加え、学校独自の学費減免制度等、金銭面における支援が充実している点は、高く評価できる。 ・就職試験対策や優良企業への求人斡旋等、就職活動における学生支援についても評価する。
基準6 教育環境	<ul style="list-style-type: none"> ・医療レセプト実習室や応接セット等、実技学習でマナーを学べる環境が整っている。 ・視聴覚設備を充実させ、教材の多様性を図ってはどうか。
基準7 学生の募集と受入	<ul style="list-style-type: none"> ・オープンキャンパスでは参加者に対し、職業については、医療事務員のグランドデザインを説明することにより、目的意識がより明確な学生の入学が増加して来ている。 ・他校との差別化や、強みを更にアピールし、募集活動に役立てて欲しい。その為にも同種の他校の研究も必要である。
基準8 財務	<ul style="list-style-type: none"> ・自己点検・評価報告書にも記載したが、本学は、NSGグループの専門学校群26校の一員であり、財務に関しても本部経理部が一元管理している。
基準9 法令等の順守	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネス社会や医療の現場で、活躍できる人材を育成する学校であり、法令等の遵守は、業務の根本的要素である。
基準10 社会貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域社会、国家の発展に寄与する」という建学の精神の基、様々なボランティア活動等に参加して地域に貢献している点を大きく評価する。

3. 学校関係者評価 全体的な総括

項目	評価
自己点検・自己評価報告書を見ての全体的な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・教育実績並びに地域貢献度の観点から、職業に特化したスペシャリストの育成に留まらず、人間力育成にも尽力している点が評価されている。医療系・保育系の卒業生は地元の医療や初等教育の現場で活躍しており、評価をいただいている。今後も常に現場のニーズに応えられる人材を多く輩出していきたい。

以上

平成 26 年度 学校関係者評価報告書

学校法人新潟総合学院
長岡こども・医療・介護専門学校
自己点検・評価委員会
「学校関係者評価」専門部会委員会

学校法人新潟総合学院 長岡こども・医療・介護専門学校自己点検・評価委員会「学校関係者評価」専門部会委員会は、平成 25 年度自己点検・自己評価報告書に基づいて学校関係者評価を実施致しました。以下のとおり、報告致します。

1. 「学校関係者評価」専門部会委員

- ・本校専門分野における業界関係者
浅井 俊一氏 新潟市こども創造センター 館長
- ・本校卒業生
小林 葵氏
- ・本校校長
山本ヒサ 学校法人新潟総合学院 長岡こども・医療・介護専門学校
- ・本校校長の指名する者
清水 優作 学校法人新潟総合学院 長岡こども・医療・介護専門学校 副校長
黒崎 勝 学校法人新潟総合学院 長岡こども・医療・介護専門学校 教務部長
村田 啓助 学校法人新潟総合学院 長岡こども・医療・介護専門学校 就職相談室長
平澤 一郎 学校法人新潟総合学院 長岡こども・医療・介護専門学校 学科長

3. 基準項目ごとの学校関係者評価・意見

項目	評価
基準 1 教育理念・教育	・学校創立から 2 年目であるが、理念にぶれなく、目標等一貫した指導が評価できる。 ・激変する社会へ対応できる人材の育成を期待する。
基準 2 学校運営	・教職員への周知を、より徹底してもらいたい。 ・建物が 2 つあり離れている為、教務間、教務と事務局間の連携を密にとって運営にってもらいたい。
基準 3 教育活動	・現在、保育業界は平成 27 年度からの法律改正もあり転換期となっている。この業界で十分活躍できる人材を輩出して欲しい。 ・実習や地域ボランティアにも多く参加しているため、今後も社会と接点を持った教育を多く実践してってもらいたい。
基準 4 教育成果	・保育所や幼稚園への就職が中心ではあるが、障害者支援施設など様々な業界で活躍できる人材を育成していると思われる。

	る点は評価できる。
基準5 学生支援	<ul style="list-style-type: none"> ・日本育英会、NSG奨学金等と言った奨学金での支援と、学校独自の学費減免制度の2本建で学生支援を行なっている点は、高く評価したい。
基準6 教育環境	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコン室（パソコン数約150台）や、教室は十分であるが、大人数で一斉講義できるような教室があってもよいのではないかと思われる。 ・学習環境とその有効活用が重要であると思われる。
基準7 学生の募集と受入	<ul style="list-style-type: none"> ・目的意識が明確な学生と、今ひとつの学生で意識に、差があるように感じられる。 ・募集時にも、そう言った点をはっきりと出ているのではないかと思われる。 ・保育系学科は実習機会が多くあるが、基礎学力や社会人としてのマナーなどもふんだんに取り入れてはどうか。
基準8 財務	<ul style="list-style-type: none"> ・自己点検・評価報告書にも記載したが、本学は、NSGグループの専門学校群26校の一員であり、財務に関しても本部経理部が一元管理している。
基準9 法令等の順守	<ul style="list-style-type: none"> ・社会で活躍できる人材を育成する学校である訳であるから、法令等の遵守は、当然のこととなる。
基準10 社会貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・地域社会との共生と言う視点から、様々な地域活動等に参加している点が評価できる。 ・年間を通じてのボランティア（長岡市子育て支援系施設、実習先の保育所・幼稚園・施設等）に学生として可能な範囲ではあるが参加している。その点は大いに評価できる。

3. 学校関係者評価 全体的な総括

項目	評価
自己点検・自己評価報告書を見ての全体的な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・設立2年目ではあるが、創立後32周年の長岡公務員・情報ビジネス専門学校から独立分校ということもあり、地域に根づいた学校と評価されている。今後も、保育分野に限らず、常に、時代のニーズに応えられる人材を輩出していただきたい。

以上

平成 27 年度 学校関係者評価報告書

学校法人新潟総合学院
長岡こども・医療・介護専門学校
自己点検・評価委員会
「学校関係者評価」専門部会委員会

学校法人新潟総合学院 長岡こども・医療・介護専門学校自己点検・評価委員会「学校関係者評価」専門部会委員会は、平成 25 年度自己点検・自己評価報告書に基づいて学校関係者評価を実施致しました。以下のとおり、報告致します。

1. 「学校関係者評価」専門部会委員

- ・本校専門分野における業界関係者

高頭 真悟氏 社会福祉法人 信濃川令終会 特別養護老人ホーム岡南の郷
安齋 結子氏 医療法人 立川メディカルセンター 悠遊健康村病院

- ・本校校長

山本 ヒサ 学校法人新潟総合学院 長岡こども・医療・介護専門学校

- ・本校校長の指名する者

清水 優作 学校法人新潟総合学院 長岡こども・医療・介護専門学校 副校長
黒崎 勝 学校法人新潟総合学院 長岡こども・医療・介護専門学校 教務部長
村田 啓助 学校法人新潟総合学院 長岡こども・医療・介護専門学校 就職相談室長
小川 貴文 学校法人新潟総合学院 長岡こども・医療・介護専門学校 教員

2. 基準項目ごとの学校関係者評価・意見

項目	評価
基準 1 教育理念・教育	・「スペシャリストの育成」と「豊かな人間形成」の教育方針に基づいた、一貫性のある指導を評価する。 ・現場の I T 機器への対応が求められている点において、教育現場も常に最新の機器での授業が望まれる。
基準 2 学校運営	・事務職員と教職員の連携・役割を更に徹底し、効率的な学校運営を図るべきではないか。 ・建物が 2 つあり離れている為、連絡がスムーズにいかない場合がある。例えば電話連絡については、内線での対応を取り入れてはどうか。
基準 3 教育活動	・介護現場は現在人材不足である。卒業後は専門職者として活躍できる人材を輩出してほしい。 ・ボランティア活動に積極的に参加している。
基準 4 教育成果	・高い就職実績を誇り、高齢者施設への就職がほとんどであるが、専門職者として活躍できる人材を育成していると思われる。

基準5 学生支援	<ul style="list-style-type: none"> ・日本育英会やNSG奨学金等の奨学金支援に加え、学校独自の学費減免制度等、金銭面における支援が充実している点は、高く評価できる。 ・就職試験対策や優良企業への求人斡旋等、就職活動における学生支援についても評価する。
基準6 教育環境	<ul style="list-style-type: none"> ・介護実習室や家政学実習室等、実技・演習を学べる環境が整っている。 ・多目的に活動できる教室があってもよいのではないかと思う。
基準7 学生の募集と受入	<ul style="list-style-type: none"> ・目的意識がより明確な学生と、何となく入学した学生での意識の差が感じられる。 ・介護福祉科は実習が多くあるので、社会人としてマナーをしっかりと身につける必要があると思われる。
基準8 財務	<ul style="list-style-type: none"> ・自己点検・評価報告書にも記載したが、本学は、NSGグループの専門学校群27校の一員であり、財務に関しても本部経理部が一元管理している。
基準9 法令等の順守	<ul style="list-style-type: none"> ・社会で活躍できる人材を育成する学校であり、法令等の遵守は、業務の根本的要素である。
基準10 社会貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な地域活動等に参加して地域に貢献している点は大きく評価する。 ・実習施設等でのボランティア活動に年間を通じて可能な範囲で参加していることは評価できる。

3. 学校関係者評価 全体的な総括

項目	評価
自己点検・自己評価報告書を見ての全体的な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・まだ3年目ではあるが、地域に根づいた学校と評価される。職業に特化したスペシャリストの育成に留まらず、人間力育成にも尽力している点が評価されている。卒業生は地元の医療や教育、介護の現場で活躍しており、評価をいただいている。今後も常に現場のニーズに応えられる人材を多く輩出していきたい。

以上